

## 水は繋ぐ

朝起きて顔を洗う。朝ご飯を食べる。はみがきをする。お手洗いに行く。手を洗う。水を飲む。私たちは、毎日知らず知らずのうちに、水と携わっています。

しかし、私たちは、使うということにばかり気を取られてはいないでしょうか。

例えばポイ捨て。私だけなら、僕だけならと思つて、下水にゴミを落とす。でもその、私・僕だけなら、を皆がするとどうなるでしょう。下水や、それが流れ込む池や川、それにつながる海……。

もちろん、どんどん汚れてしまいます。

私の家の近くの川は、昔はとてもきれいだつたのですが、人口が増えたり、ポイ捨てたりで、今ではあまりきれいとは言いがたい川になっていきます。

私はそれを見て、「汚染の対策はないのか

生駒市立上中学校 二年

江島 春華

」と考え、調べてみました。

川沿いに立っているコンクリートブロック。一見、何の役にも立っていないように見えますが、実はあの中には川をきれいにしてくれる微生物が入っているのです。

コンクリートブロックの中には、ひもの様なものが沢山つるしてあつて、そのひもに無数の微生物がっついていきます。

このように、生き物を使ったりして、水をきれいにする事が出来ます。

では、私たちに何かできる事はあるでしょうか。

実は、水質汚染のほとんどの原因は、生活排水です。

例えば、流しなどに食品をそのまま流すやリンなどを含むため、赤潮発生の原因とな

ります。

また、油などの場合、水中に生きる魚貝類に大きな影響をあたえ、海洋生物の生殖、生育、食餌、などへの影響、その他の機能障害などをおよぼします。

このような事が実際に今起こっている地域も、少なくありません。

これは、魚たちに限った話ではありません。私たちは、魚を食べます。でも、食べる魚が汚染された海でとれたものだったら、当然魚も汚れています。そんな魚、食べたくはありませんよね。

そんな魚を食べたり海を汚さないために、私たちでもできる事を紹介します。

1つ目は、台所の排水口にストレーナを付けるというものです。1ミリのストレーナを付ける事で、排水汚れを30パーセント程きれいにできる事が報告されています。ストレーナでなくても、代用で、ガーゼやストッキングも利用できます。

2つ目は、洗剤を使い過ぎない事です。洗剤の量を増やしても、洗浄力はさほど変わりません。使用量の目安が記載されているもの

もあるのです、それにしたがって使う事をおすすめします。

最初にも書いたとおり、水は私たちにとって、必要不可欠な資源です。

水は、海水が蒸発し、雨雲ができ、山に雨が降り、それが流れて川となり、海へ帰って来ます。

水は、私たちが生まれるずっと前から、この営みをくり返して来ました。

そしてこれからも、この営みが、止まることなくくり返される様に、私たち人間が自然と向き合い、共に助け合って、生きていく、そんな世界を、これから私たちは、作っていくのです。